

各校代表、熱戦展開

走投

跳

「匝瑳市小学校体育大会」

市内小学生の陸上競技の祭典・匝瑳市小学校体育大会が5月17日、県総合スポーツセンター東総運動場（旭市）で開催されました。自己記録の更新、上位大会への出場を目指して各校代表の5・6年生（一部4年生含む）が参加し、熱戦が繰り広げられました。各種目の上位入賞者は次の通りです（敬称略。カッコ内は在籍校名※リレーはクラス）



6年男子100m決勝

走る

Track

- 100m
- ▽5年女子①角田琉奈（八日市場）16秒42②松尾怜南（平和）16秒44③江波戸楨（平和）16秒48
 - ▽5年男子①古山簾（須賀）15秒53②平野瞬来（野田）16秒24③伊東文仁（野田）16秒91
 - ▽6年女子①遠藤綾乃（平和）15秒04②佐藤未優（共興）15秒09③富樫まゆか（八日市場）15秒40
 - ▽6年男子①石田律（栄）14秒14②實川勇人（須賀）15秒02③中野航貴（平和）15秒29

- 800m
- ▽5年女子①椎名琴音（栄）2分49秒17②戸村夢愛（樫海）2分49秒37③土屋舞桜（八日市場）2分52秒86
 - ▽6年女子①品村緋美（樫海）3分37秒61②吉田羽菜（吉田）3分40秒05③佐藤花憐（共興）3分40秒75
 - ▽6年男子①平山権史（八日市場）3分18秒10②太田瑠飛（平和）3分24秒32③吾孫子碧海（樫海）3分27秒98



6年女子1000m

- 60mハードル
- ▽女子①小安ひなた（八日市場）11秒47②関聖捺（八日市場）11秒57③高山心（豊和）11秒92
 - ▽男子①金原弦輝（平和）11秒23②中川快琉（八日市場）11秒46③水口璃一（豊栄）11秒49

- 1000m
- ▽5年男子①岩田祐奈（八日市場）2分51秒02②増田義朗太（八日市場）2分51秒59③清水絆吏（平和）2分55秒67
 - ▽6年男子①須賀小（6の1）59秒27②平和小（6の1）59秒41③栄小（6の1）1分1秒18
 - ▽6年女子①八日市場小（6の1）1分1秒02②平和小（6の2）1分0秒82③八日市場小（6の1）1分4秒87
 - ▽5年男子①野田小（5の1）1分2秒01②須賀小（5の1）1分2秒82③樫海小（5の1）1分4秒87
 - ▽5年女子①平和小（5の1）1分3秒26②樫海小（5の1）1分3秒57③八日市場小（5の1）1分3秒77
 - ▽400mリレー

跳ぶ・投げる

Field



6年男子400mリレー

- 走り高跳び
- ▽女子①鶴之澤梓彩（栄）1m
 - ▽女子①越智葉月（八日市場）3m95②熱田愛優美（八日市場）3m63③伊藤未皇（栄）3m29
 - ▽男子①小川結叶（八日市場）3m66②土屋颯雅（野田）3m48③伊藤和真（野田）3m45
 - ポールスロー
 - ▽女子①遠藤典実（栄）48m07
 - ※大会新記録②戸村妃乃（平和）41m34③石井心晴（吉田）38m68
 - ▽男子①布施龍之介（平和）57m40②大木風太郎（吉田）52m25③宇野大翔（共興）47m43

- 走り幅跳び
- ▽女子①土屋優花（八日市場）1m12③二村菜月（須賀）1m07
 - ▽男子①石井朋也（吉田）1m18②山崎洸太（須賀）1m15②小川智也（樫海）1m15②江波戸康太（平和）1m15

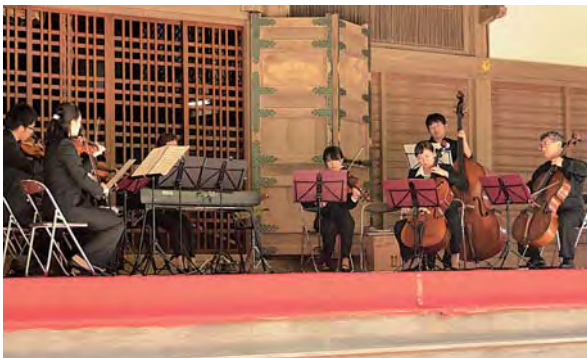


女子走り幅跳び

“新緑の匠”を満喫

大型連休 市内各地にぎわう

4月末から5月初旬にかけての大型連休期間中、市内各地で新緑に包まれたイベントが開かれ、好天にも恵まれて多くの方が会場を訪れました。



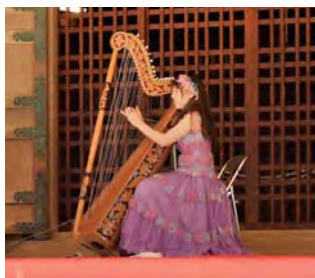
▲UFOは定番のクラシック音楽の他に昭和歌謡曲などを披露
▶南米のハーブ・アルパを演奏する金子芽生さん

<飯高檀林新緑祭>

大杉立ち並ぶ境内に音色が響く

飯高檀林跡（飯高寺）で4月30日に開催された「第11回飯高檀林新緑祭」では、市内弦楽団「UFO」とアルパ奏者の金子芽生さんを招き、講堂をステージにコンサートが行われました。

第1部は、チェロやバイオリンなどによるUFOのコンサートで、クラシック音楽や歌謡曲などを披露。第2部は、南米・パラグアイに伝わる弦楽器アルパにより、ラテン調の軽快なメロディーの楽曲から雄大な自然をイメージしたものまで全8曲が披露され、会場を訪れた多くの聴衆は、大杉に囲まれた境内に響き渡る音色に耳を傾けていました。



<おせん様のふじ祭>

熟練の技術に感心

300本余りのフジが咲き誇る豊栄地区木積では4月28日～5月14日の間、「おせん様のふじ祭」が開催されました。

6日のイベント日は、周囲のフジ棚から放たれる甘い香りに包まれた会場で、歌や踊り、箕を使った「米運び競争」などが行われました。国の重要無形民俗文化財に指定されている藤箕製作技術の実演では、シノダケとフジの皮で編み上げる熟練の手さばきに、来場者の注目が集まっていました。

フジ棚の下で行われた箕づくりの実演



色とりどりの植木が並んだ会場

<匠瑛市植木まつり>

大小色鮮やかに勢ぞろい

今年で11回目を迎えた匠瑛市植木まつりが5月3日～5日、生涯学習センター前駐車場で開かれました。

展示即売会と植木の出来を競う共進会を兼ねたイベントで、会場内には鉢植木から職人仕立ての造形樹まで「匠瑛の植木」が勢ぞろい。名品を買い求めに訪れた多くの来場者の目を楽しませていました。

里山再生の証し

里山活動団体・アルカディアの会が保全管理する豊和地区大寺の山林で、ラン科植物の中でも絶滅のおそれがあるとされる「キンラン」「ギンラン」と見られる植物が発見されました。

同団体の鎌形和宣さんによると、下草刈りなどの里山保全活動を平成16年から続ける中、今年初めて生育が確認できたということで、「里山の環境が再生された証し」と喜んでいます。



貴重なキンランと鎌形さん

台湾学生をホームステイ受け入れ

台湾からの修学旅行生43人が4月14日に本市を訪れ、ホストファミリー（受け入れ家族）宅にホームステイをしました。

観光と文化交流の一環で実施されたもので、八日市場公民館で開かれた歓迎セレモニーで対面したホストファミリーと修学旅行生は、グループに分かれて英語や身ぶり手ぶりを交えてコミュニケーションを図っていました。



ホストファミリー（右）の紹介を受ける修学旅行生